無断転載禁止

2017年９月24日 実施

平成29年度（第57回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報部門〉
第１級　試 験 問 題

注　意　事　項

１．監督者の指示があるまで，試験問題に手を触れないでください。

２．試験問題は11ページあります。

３．解答はすべて解答用紙に記入します。

４．電卓などの計算用具は使用できません。

５．筆記用具などの物品の貸借はできません。

６．問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。

７．制限時間は60分です。

主催　公益財団法人 全国商業高等学校協会

【1】　次の説明文に最も適した答えを解答群から選び，記号で答えなさい。

1．ハードディスク装置と比較して，小型かつ軽量で，衝撃や振動に強く，省電力である特徴を持つ，半導体素子を用いた記憶装置。
2．ユーザが独自のタグを指定することができ，ネットワーク上でのデータ交換や共有が容易になるマークアップ言語。
3．利用者が誤った操作をする可能性があることを前提として，誤った操作をしても，システム全体に致命的な障害が起きないようにする設計思想。
4．コンピュータシステムに処理の指示を出してから，実行結果がすべて出力されるまでの時間。
5．データベースにおいて，安全にデータを更新するため，他のトランザクションからのデータの更新，参照を実行できないようにかけるロック。

解答群

ア．Ｃｏｏｋｉｅ	**イ**．ターンアラウンドタイム	**ウ**．共有ロック
エ．ＳＳＤ	**オ**．フェールセーフ	**カ**．ＳＳＬ
キ．フールプルーフ	**ク**．ＵＰＳ	**ケ**．レスポンスタイム
コ．スループット	**サ**．占有ロック	**シ**．ＸＭＬ

【2】　次のＡ群の語句に最も関係の深い説明文をＢ群から選び，記号で答えなさい。

＜Ａ群＞　1．基本設計　　2．ＭＴＴＲ　　3．ルータ
　　4．ＰＯＰ　　5．結合テスト

＜Ｂ群＞

ア．コンピュータシステムが正常に稼働を開始してから，障害が発生するまでの平均時間。
イ．インターネット上で，クライアントが，電子メールを送信するために用いるプロトコル。
ウ．システム開発において，実装すべき機能や機器の構成などを明確にする開発工程。
エ．開発工程におけるテスト作業の一つで，分割して作成したモジュールを組み合わせて，モジュール間のインタフェースに着目して行うテスト。
オ．ネットワークにおいて，異なるプロトコルであっても接続でき，相互に通信を可能にする通信機器。
カ．インターネット上で，クライアントが，電子メールを保存しているサーバからメールを受信するために用いるプロトコル。
キ．システム開発において，詳細設計に基づいて，各プログラムを設計する開発工程。
ク．開発工程におけるテスト作業の一つで，開発したシステム全体が，当初の設計どおりの機能を備えているかを確認するテスト。
ケ．ネットワークにおいて，受け取ったデータをどの経路に転送すべきか，選択する機能を持つ通信機器。
コ．コンピュータシステムに障害が発生してから，修復が完了するまでの平均時間。

【３】　次の説明文に最も適した答えをア，イ，ウの中から選び，記号で答えなさい。なお，５．については数値を答えなさい。

１．データベースにおいて，トランザクション処理の途中で論理的な障害が発生した場合，ジャーナルファイルを用いて，トランザクション処理開始時点の状態に戻し，データの整合性を保つこと。

ア．ロールフォワード　　**イ．**ロールバック　　**ウ．**コミット

２．ＲＡＳＩＳが示す指標の一つで，システムの機密性が高く外部から不正にアクセスされにくいこと。

ア．安全性　　**イ．**完全性　　**ウ．**保守性

３．内部ネットワークとインターネットの境界にあり，直接インターネットに接続できない内部のコンピュータに代わって，接続を行うサーバ。

ア．ＤＮＳサーバ　　**イ．**ＤＨＣＰサーバ　　**ウ．**プロキシサーバ

４．ハードディスク装置に，解像度3,000×2,000ピクセルの画像を，１ピクセルあたり24ビットの色情報で，1,000枚記録してある。この画像を圧縮せずにすべてＤＶＤに収める場合，ＤＶＤは少なくとも何枚必要か求めなさい。なお，ＤＶＤ１枚の記憶容量は4.7ＧＢとする。ただし，１ＧＢ＝10^9Ｂとする。

ア．２枚　　**イ．**３枚　　**ウ．**４枚

５．あるサーバに保存してある900ＭＢのデータを，Ａ地点とＢ地点で通信速度が100Ｍｂｐｓの通信回線を用いて，それぞれダウンロードする。Ａ地点での伝送効率は80％，Ｂ地点では60％として，Ｂ地点での転送時間はＡ地点での転送時間より何秒多くかかるか求めなさい。なお，その他の外部要因は考えないものとする。ただし，１Ｍ＝10^6とする。

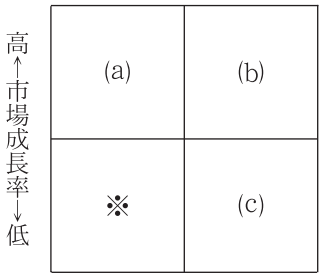
【４】　次の各問いに答えなさい。

問１．次の文章の空欄(a)，(b)にあてはまる適切なものを選び，記号で答えなさい。

二者間の通信を暗号化する場合，「共通鍵暗号方式」と「公開鍵暗号方式」の二つの方式がある。「共通鍵暗号方式」は，暗号化する鍵と復号する鍵は，［　(a)　］ものを使う。通信を２人でする場合，鍵の数は１組で，通信を５人で全員が相互にする場合，10組である。「公開鍵暗号方式」は，暗号化する鍵と復号する鍵は，［　(b)　］ものを使う。

ア．(a) 異なる　(b) 同じ　　**イ．**(a) 同じ　(b) 異なる　　**ウ．**(a) 異なる　(b) 異なる

問２．ＰＰＭ分析を表している次の図の空欄(a)～(c)にそれぞれあてはまる適切なものを選び，記号で答えなさい。



㈱　※印は，表記を省略している。

ア．負け犬　　**イ．**問題児　　**ウ．**金のなる木　　**エ．**花形

問３．ある映画館では，次の条件で入場料の割引サービスを実施している。条件にしたがって決定表を作成したとき，(a)にあてはまる適切なものを選び，記号で答えなさい。

条件

⑴　女性の場合，火曜日で60歳以上は５割引き，火曜日で60歳未満は３割引き，その他の曜日で60歳以上は１割引きとなる。

⑵　男性の場合，火曜日は年齢を問わず３割引き，その他の曜日で60歳以上は１割引きとなる。

⑶　60歳以上で子どもを同伴した場合，次回以降に使用できる子ども招待券をプレゼントする。

条件部	女性	Y	Y	Y	Y	Y	Y	N	N	N	N	N	N
	火曜日	Y	Y	Y	N	N	N	Y	Y	Y	N	N	N
	60歳以上	Y	Y	N	Y	Y	N	Y	Y	N	Y	Y	N
	子ども同伴	Y	N	－	Y	N	－	Y	N	－	Y	N	－
動作部	５割引き	X	X	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※
	３割引き	－	－	※	※	※	※	※	※	(a)		※	※
	１割引き	－	－	※	※	※	※	※	※			※	※
	子ども招待券	X	－	※	※	※	※	※	※	※	※	※	※

㈱　条件部　Y：条件を満たす　　N：条件を満たさない　　－：条件を問わない
　　動作部　X：行動　　－：行動なし
　　※印は，表記を省略している。

ア．

－	X
X	－

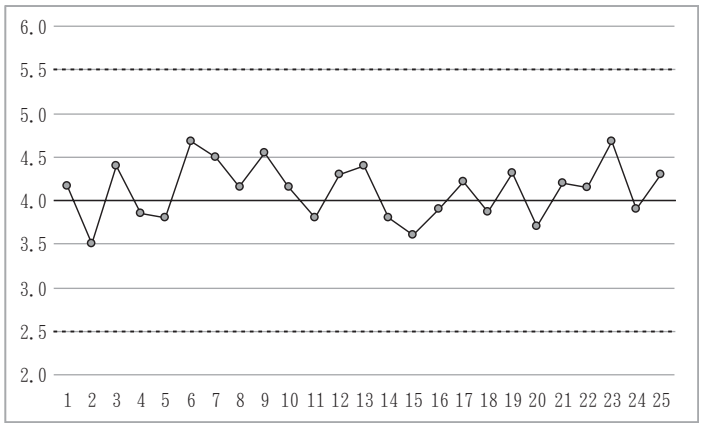
イ．

X	－
－	－

ウ．

X	－
－	X

問４．次の図の名称と説明として適切なものをそれぞれ選び，記号で答えなさい。



名称

ア．管理図

イ．パレート図

ウ．特性要因図

説明

ア．特性とそれに影響を及ぼした要因との関連性を整理して体系的に表した図。

イ．製品の品質を時系列で表し，生産工程が安定した状態で，一定の範囲内に収まっているかなどを判断するための図。

ウ．各項目をデータの降順に並べてグラフにしたものと，各項目の累計比率をグラフにしたものを結合させた図。

問５．ＢＰＲを説明している次の文章のうち適切なものを選び，記号で答えなさい。

ア．売上高や収益率の向上，必要時間の短縮などの目標を達成するために，業務内容や業務の流れ，組織構造などを分析し，情報システムを抜本的に再構築すること。費用削減と業務のスピードアップに主眼を置く。

イ．顧客と長期的に良好な関係を築くため，顧客の購入履歴，趣味などのさまざまな情報を一括して集中管理し，企業の営業戦略に活用する経営手法。新規に顧客を開拓するよりも費用がかからずに済む。

ウ．コンピュータシステムを活用して，経営資源を統合的に管理するための手法。企業全体の経営資源を有効に活用するとともに，人材や財産，資金，情報の最適化を図り，合理的かつ効率的な経営活動を目指す。

【5】 ある旅行用品を取り扱うレンタルショップでは，商品の貸し出し状況の管理を次のようなリレーショナル型データベースを利用し，管理している。次の各問いに答えなさい。

処理の流れ

① 会員の注文を受け，店員が貸出表と貸出明細表にデータを入力する。
② 1回の貸し出しにつき，貸出表に1件のレコードが追加され，貸出明細表には貸し出された商品コードの数だけレコードが追加される。例えば1回の貸し出しでスーツケースMを2個，ディジタルカメラを1台貸し出した場合，貸出表には1件のレコード，貸出明細表には2件のレコードが追加される。
③ 貸出明細表の「返却」は，商品を貸し出した際，0 を入力し，返却された場合は，貸し出した日数に更新する。例えば，3日後に返却された場合は，4 に更新する。
④ 使用料金は，「貸出数」と貸し出した日数と商品ごとの「料金」を掛けて計算し，返却時に精算が行われる。

商品表

商品コード	商品名	料金	保有数
≀	≀	≀	≀
BE001	ケース用ベルト青	350	60
DC001	ディジタルカメラ	3500	40
≀	≀	≀	≀
IP001	電気ポット	1000	40
PR001	電気プラグ	500	60
SC001	スーツケースM	3500	80
SC002	スーツケースL	4000	80
VC001	ディジタルビデオカメラ	3500	40
≀	≀	≀	≀

会員表

会員番号	会員名
1001	岩崎　美咲
1002	阿部　海斗
1003	河合　結菜
≀	≀
1082	鈴木　葉月
1083	山崎　彩乃
1084	生井　唯
1085	地久　真央
1086	栃木　芽衣
≀	≀

貸出表

貸出番号	会員番号	貸出日
≀	≀	≀
169864	1002	2017/07/31
169865	1083	2017/08/01
169866	1236	2017/08/01
169867	1138	2017/08/01
≀	≀	≀
170017	1249	2017/09/19
170018	1062	2017/09/20
≀	≀	≀
170036	1128	2017/09/25
≀	≀	≀

貸出明細表

貸出番号	商品コード	貸出数	返却
≀	≀	≀	≀
169864	PR001	1	1
169865	SC001	1	1
169865	VC001	1	1
169866	SC002	1	4
≀	≀	≀	≀
170010	SC001	1	1
≀	≀	≀	≀
170034	BE001	1	0
170034	SC001	2	0
≀	≀	≀	≀

㈱ 貸出日のデータ型は日付型であり，年/月/日で表す。

問1．貸出表の主キーとして適切なものを選び，記号で答えなさい。ただし，主キーは，必要最低限かつ十分な条件を満たしていること。

ア．貸出番号
イ．貸出番号と会員番号
ウ．貸出番号と会員番号と貸出日

問２．新規の取扱商品として，次の商品を商品表に追加することになった。実行するSQL文として適切なものを選び，記号で答えなさい。

［新規取扱商品］　商品コード：BA001　　商品名：モバイルバッテリー　　料金：500　　保有数：120

ア．
```
DELETE  FROM  商品表  WHERE  商品コード = 'BA001'  AND  商品名 = 'モバイルバッテリー'
                          AND  料金 = 500  AND  保有数 = 120
```

イ．
```
INSERT  INTO  商品表  VALUES（'BA001', 'モバイルバッテリー', 500, 120）
```

ウ．
```
UPDATE  商品表  SET  商品名 = 'モバイルバッテリー', 料金 = 500, 保有数 = 120
    WHERE  商品コード = 'BA001'
```

問３．2017年７月１日～2017年７月31日に，スーツケースを貸し出した会員番号と会員名を重複なく抽出する。次のSQL文の空欄(a)，(b)をうめなさい。なお，スーツケースの商品コードは，左端から２文字がSC である。

```
SELECT   [ (a) ]  A.会員番号，会員名
  FROM   会員表 A，貸出表 B，貸出明細表 C
  WHERE  A.会員番号 = B.会員番号
    AND  B.貸出番号 = C.貸出番号
    AND  貸出日  BETWEEN  '2017/07/01'  AND  '2017/07/31'
    AND  商品コード  [ (b) ]  'SC%'
```

会員番号	会員名
1083	山崎　彩乃
1124	田口　雅人
≀	≀
1213	鈴木　遥佳
1236	郡司　季歩

問４．８月中に貸し出した商品のうち，精算された売上高を抽出する。次のSQL文の空欄をうめなさい。

```
SELECT   SUM(貸出数 * [          ])  AS  売上高
  FROM   商品表 A，貸出表 B，貸出明細表 C
  WHERE  A.商品コード = C.商品コード
    AND  B.貸出番号 = C.貸出番号
    AND  貸出日  BETWEEN  '2017/08/01'  AND  '2017/08/31'
    AND  返却 〈〉 0
```

売上高
3161700

問５．８月中に，貸し出しの利用がない会員番号と会員名を抽出する。次のSQL文の空欄にあてはまる適切なものを選び，記号で答えなさい。

```
SELECT   会員番号，会員名
  FROM   会員表 A
  WHERE  会員番号 [          ] (SELECT   会員番号  FROM  貸出表
                              WHERE  会員番号 = A.会員番号
                                AND  貸出日  BETWEEN  '2017/08/01'  AND  '2017/08/31')
```

ア． IN　　**イ．** NOT EXISTS　　**ウ．** NOT IN

【6】　次の各問いに答えなさい。

問1．次の表は，円相場（1ドルあたり）の記録である。F3は，「差」の最大値と最小値の絶対値から，最大値を求める。D4，F3に次の式が設定され，D4はD263までコピーされている。F3に設定する式の空欄に入る関数名を答えなさい。なお，円安と円高の最大値が同じ場合，円安 を表示し，「差」のすべてが同じ値になることはない。

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2	円相場（1ドルあたり）					最大の差		
3	日付	始値	終値	差		3.96	円の	円高
4	2016/1/4	120.21	119.43	-0.78				
5	2016/1/5	119.33	119.04	-0.29				
6	2016/1/6	119.03	118.46	-0.57				
≀	≀	≀	≀	≀				
127	2016/6/23	104.66	106.01	1.35				
128	2016/6/24	106.28	102.32	-3.96				
129	2016/6/27	102.19	101.98	-0.21				
≀	≀	≀	≀	≀				
263	2016/12/30	116.55	116.99	0.44				

D4：=C4-B4

F3：=MAX(MAX(D4:D263),［　　］(MIN(D4:D263)))

問2．次の表は，ある貸しスペースの料金計算表である。「使用時間」は，「退室時刻」から「入室時刻」を引いた時間を，使用する部屋の「単位時間（分）」単位に切り上げて表示する。D4に設定する次の式の空欄(a)，(b)に入る関数名を答えなさい。

	A	B	C	D
1				
2	料金計算表			
3	使用部屋番号	3	部屋名	多目的室
4	入室時刻	13:25	使用時間	2:30
5	退室時刻	15:42	使用料金	20,000
6				
7	料金表			
8	部屋番号	部屋名	単位時間（分）	単位料金
9	1	小会議室	15	1,800
10	2	大会議室	20	2,100
11	3	多目的室	30	4,000
12	4	ダンスホール	60	7,500
13	5	防音スタジオ	90	9,000

=［　(a)　］(B5-B4,［　(b)　］(0,VLOOKUP(B3,A9:C13,3,FALSE),0))

問3．次の実績表は，「xの実績」に対して，「yの実績」を記録したものである。「yの予測値」に次の式が設定されているとき，この式について適切なことを述べているものを選び，記号で答えなさい。

=FORECAST(E3,B4:B826,A4:A826)

	A	B	C	D	E
1					
2	実績表			予測表	
3	xの実績	yの実績		xの値	1,100
4	267	6,350		yの予測値	48,199
5	241	6,566		相関係数	0.979
6	248	4,172			
≀	≀	≀			
825	964	44,601			
826	874	33,676			

ア．「xの実績」と「yの実績」に正の相関がある場合，信頼できる予測値が表示され，負の相関や無相関の場合，予測値は信頼できない。そのため，正の相関関係があるか調べることが大切である。

イ．「xの実績」と「yの実績」の相関関係によらず予測値が表示される。そのため，相関関係や因果関係の有無，予測値の信頼性をみるために，グラフなど他の手段を用いて検討することが大切である。

ウ．「xの実績」と「yの実績」に正の相関や負の相関がある場合，予測値が表示され，相関関係がない場合，エラーが表示される。そのため，予測値が表示されれば，信頼の高い結果といえる。

問４．次の表は，ガス料金計算表である。「基本料金」および「単位料金」は「月」と「使用量」をもとに基本料金表（１か月）および，単位料金表（１㎥あたり）を参照して表示する。Ｂ６に設定する次の式の空欄(a)，(b)にあてはまる適切なものを選び，記号で答えなさい。ただし，この式をＢ７にコピーする。

ガス料金計算表

月	8
使用量	26

基本料金	1,056.80
単位料金	186.67
請求金額	5,910

基本料金表（１か月）

使用量＼月	1	2	～	8	9	～	12
999㎥まで	2,127.60	2,127.60	～	2,042.50		～	
100㎥まで	1,533.60	1,533.60	～	1,472.30		～	
30㎥まで	1,112.40	1,112.40	～	1,056.80		～	
15㎥まで	896.40	896.40	～	842.60		～	

単位料金表（１㎥あたり）

使用量＼月	1	2	～	8	9	～	12
999㎥まで	165.64	167.22	～	166.69		～	
100㎥まで	171.58	173.16	～	172.63		～	
30㎥まで	185.62	187.20	～	186.67		～	
15㎥まで	200.02	201.60	～	201.07		～	

```
=IF(OR($B$3<1,$B$3>12,$B$4<0,$B$4>999),"NG",
  INDEX(($F$4:$Q$7,$F$11:$Q$14),MATCH($B$4,$D$4:$D$7,-1),[(a)],[(b)]))
```

ア．(a) $B$3　(b) ROW(A6)　**イ．**(a) B3　(b) ROW(A1)+5　**ウ．**(a) $B$3　(b) ROW()-5

問５．次の表は，修理履歴表である。「分析結果」は，2017/4/1～2017/6/30に 武本 が担当した修理時間の最大値を求めるため，次の式が設定されている。ワークシートの(a)と式の空欄(b)にあてはまる適切なものを選び，記号で答えなさい。

修理履歴表

番号	修理日	製品名	交換部品	担当者	修理時間
1	2017/1/9	製品D	部品a	武本	115
2	2017/1/5	製品A	部品j	川村	75
3	2017/1/7	製品C	部品i	片山	70
4	2017/1/12	製品A	部品h	吉松	45
5	2017/1/7	製品B	部品g	武本	90
≀	≀	≀	≀	≀	≀
1092	2017/9/19	製品B	部品a	川村	65
1093	2017/9/16	製品D	部品h	武本	120
≀	≀	≀	≀	≀	≀
2000					

条件

(a)

分析結果
95

```
=DMAX(A3:F2003,6,[(b)])
```

ア．(a)

	H	I	J
3	修理日	修理日	担当者
4	>=2017/4/1	<=2017/6/30	武本

(b) H3:J4

イ．(a)

	H	I	J
3	修理日	担当者	
4	>=2017/4/1	武本	
5	<=2017/6/30	武本	

(b) H3:I5

ウ．(a)

	H	I	J
3	修理日	修理日	担当者
4	>=2017/4/1		武本
5		<=2017/6/30	武本

(b) H3:J5

【7】　次の表は，日帰り温泉施設の利用料金計算書である。作成条件および作成手順にしたがって，各問いに答えなさい。

シート名「利用料金計算書」

	A	B	C	D	E
1					
2			利用料金計算書		
3					
4		1．利用情報			
5			入力欄		確認欄
6		大　　人	3	人	
7		子　ど　も	3	人	OK
8					
9				本日の曜日種別	休日
10				現在の時間帯	昼間
11				料金コース名	休日昼間
12					
13		会　員　番　号	100015H		OK
14			（非会員は0を入力）		
15				会　員　種　類	本会員
16				会　員　名	小野　章雄
17					
18		値引券コード1	A700		OK
19		値引券コード2	C600		OK
20					
21		2．料金比較			
22		適用サービス	大人	子ども	合計金額
23		本会員割引	6,000	3,120	9,120
24		大人700円引き	5,400	3,900	9,300
25		子ども600円引き	7,500	2,100	9,600
26					
27		3．請求金額			
28		適用サービス	大人	子ども	合計金額
29		本会員割引	6,000	3,120	9,120

シート名「会員表」

	A	B
1		
2	会員表	
3	会員番号	会員名
4	100001H	高梨　咲
5	100002H	富田　悠生
⋮	⋮	⋮
1185	101182F	浜屋　三晃
1186	101183H	渡辺　由比菜

シート名「祝日表」

	A	B
1		
2	祝日表	
3	日付	祝日名
4	2017/1/1	元日
5	2017/1/2	振替休日
6	2017/1/9	成人の日
7	2017/2/11	建国記念の日
8	2017/3/20	春分の日
9	2017/4/29	昭和の日
10	2017/5/3	憲法記念日
11	2017/5/4	みどりの日
12	2017/5/5	こどもの日
13	2017/7/17	海の日
14	2017/8/11	山の日
15	2017/9/18	敬老の日
16	2017/9/23	秋分の日
17	2017/10/9	体育の日
18	2017/11/3	文化の日
19	2017/11/23	勤労感謝の日
20	2017/12/23	天皇誕生日

シート名「料金表」

	A	B	C
1			
2	料金表		
3		年齢区分コード	
4		A	C
5	料金コース名＼年齢区分	大人	子ども
6	平日昼間	2,300	1,000
7	平日夜間	1,600	800
8	休日昼間	2,500	1,300
9	休日夜間	2,000	900

作成条件

1．シート名「利用料金計算書」の入力欄に適切なデータを順に入力すると，請求金額を求めることができる。

2．入力欄に入力された値が適切でない場合，確認欄に NG を表示し，入力欄が未入力の場合，確認欄に何も表示しない。また，確認欄が空欄または NG の場合，その次の入力項目以降の確認欄に何も表示しない。ただし，C18およびC19は，値引券の枚数に応じて入力するため，空欄になる場合がある。

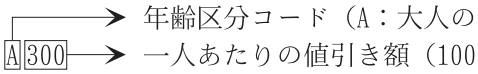
3．営業時間は，9時00分から23時00分である。また，22時00分以降は入場の受け付けを行っていない。

4．１グループは，大人と子どもを合わせて10人以下とする。

5．本日の曜日が土日か，本日の日付がシート名「祝日表」の日付と一致する場合，休日とし，それ以外の場合，平日とする。また，18時00分までは昼間，18時00分以降は夜間とする。

6．会員は，本会員と家族会員の二種類である。本会員はグループ全員が料金から20%引き，家族会員は10%引きとなる。なお，会員割引を受けるには，グループ全員が会員登録をする必要はなく，グループの中で一人が会員であればよい。

7．値引券コードは，次のように４桁で構成されている。２種類まで提示することができるが，利用できるのは１種類のみである。なお，会員割引と値引券コードは同時に利用することができず，値引券コードは非会員であっても利用することができる。



作成手順

1．シート名「利用料金計算書」は，次のように作成されている。

⑴　C６とC７は，「大人」と「子ども」の利用人数を入力する。また，Ｅ７は，作成条件３と４を満たした場合，OK を表示する。

⑵　Ｅ９は，本日の曜日が土日，または本日の日付がシート名「祝日表」の日付と一致する場合，休日を表示し，それ以外の場合，平日 を表示する。

⑶　E10は，現在の時刻が18時00分までの場合，昼間 を表示し，それ以外の場合，夜間 を表示する。

⑷　E11は，Ｅ９とE10を文字列結合して表示する。

⑸　C13は，「会員番号」を入力する。また，E13は，「会員番号」が 0 か，または「会員番号」がシート名「会員表」の「会員番号」と一致する場合，OK を表示する。

⑹　E15は，「会員番号」の右端の１文字が H の場合，本会員 を，F の場合，家族会員 を，それ以外の場合，非会員 を表示する。また，E16は，「会員番号」をもとに，シート名「会員表」を参照して「会員名」を表示する。ただし，「会員番号」がシート名「会員表」にない場合，何も表示しない。

⑺　C18とC19は，「値引券コード」を入力する。ただし，「値引券コード」はC18から入力し，C19のみに入力することはない。

⑻　E18とE19は，作成条件７を満たした場合，OK を表示する。

⑼　B23は，E15が 非会員 の場合，会員割引なし を表示し，それ以外の場合，E15に 割引 を文字列結合して表示する。

⑽　B24（B25）は，C18（C19）が未入力の場合，値引券利用なし を表示する。それ以外の場合，①と②を文字列結合し，さらに 円引き を文字列結合して表示する。

①　C18（C19）の左端から１文字を抽出し，シート名「料金表」を参照した「年齢区分」。

②　C18（C19）の右端から３文字。

⑾　C23～D25は，「料金コース名」をもとに，シート名「料金表」を参照し，料金を以下のように求める。

・C23～D23：**「人数　×　料金　×（１　－　割引率）」**

・C24～D25：**「人数　×（料金　－　値引き額）」**

⑿　E23～E25は，「大人」と「子ども」の合計を求める。

⒀　B29～E29は，B28～E28をもとに，「２．料金比較」を参照し，「合計金額」が最も小さい行を表示する。

「問題を読みやすくするために,
このページは空白にしてあります。」

問１．シート名「利用料金計算書」のＥ９に設定する次の式の空欄にあてはまる適切なものを選び，記号で答えなさい。

```
=IF(E7<>"OK","",
  IF(OR(WEEKDAY(TODAY(),2)>=6,　　(祝日表!A4:A20,"="&TODAY())=1),"休日","平日"))
```

㈱　WEEKDAY関数の第２引数が　２　の場合，戻り値として，１（月曜日）～７（日曜日）を返す。

ア．COUNT　　**イ**．COUNTIF　　**ウ**．DCOUNT

問２．シート名「利用料金計算書」のＥ18に設定する次の式の空欄(a)，(b)にそれぞれあてはまる適切なものを選び，記号で答えなさい。

```
=IF(OR($E$13<>"OK",C18=""),"",
  IF(　(a)　(LEN(C18)=4,　(b)　(LEFT(C18,1)="A",LEFT(C18,1)="C"),
    IFERROR(AND(VALUE(RIGHT(C18,3))>=100,VALUE(RIGHT(C18,3))<=900),FALSE)),"OK","NG"))
```

ア．(a) OR　(b) OR　　**イ**．(a) OR　(b) AND　　**ウ**．(a) AND　(b) OR

問３．シート名「利用料金計算書」のＣ24に設定する次の式の空欄(a)，(b)をうめなさい。ただし，この式をＤ25までコピーする。

```
=IF(OR($E$13<>"OK",$C18="",$E$18="NG",$E$19="NG"),"",IF(C$22="大人",$C$6,$C$7)
  *(VLOOKUP($E$11,料金表!$A$6:$C$9,　(a)　(料金表!B5),FALSE)
    -IF(C$22=HLOOKUP(LEFT(　(b)　,1),料金表!$B$4:$C$5,2,FALSE),
      VALUE(RIGHT(　(b)　,3)),0)))
```

問４．シート名「利用料金計算書」のＢ29に設定する次の式の空欄(a)，(b)をうめなさい。ただし，この式をＥ29までコピーする。

```
=IF(OR($E$13<>"OK",$E$18="NG",$E$19="NG"),"",
  HLOOKUP(B28,$B$22:$E$25,MATCH(　(a)　($E$23:$E$25),$E$23:$E$25,0)　(b)　,FALSE))
```

問５．シート名「利用料金計算書」が次のように表示されているとき，Ｅ29に表示される適切なデータを選び，記号で答えなさい。

ア．6,600
イ．6,700
ウ．6,840

	A	B	C	D	E
1					
2			利用料金計算書		
3					
4		1．利用情報			
5			入力欄		確認欄
6		大　　人	2	人	
7		子　ど　も	3	人	OK
8					
9				本日の曜日種別	平日
10				現在の時間帯	昼間
11				料金コース名	平日昼間
12					
13		会　員　番　号	101182F		OK
14			（非会員は0を入力）		
15				会　員　種　類	※
16				会　員　名	浜屋　三晃
17					
18		値引券コード１	C300		OK
19		値引券コード２	A500		OK
20					
21		2．料金比較			
22		適用サービス	大人	子ども	合計金額
23		※	※	※	※
24		※	※	※	※
25		※	※	※	※
26					
27		3．請求金額			
28		適用サービス	大人	子ども	合計金額
29		※	※	※	※

㈱　※印は，値の表記を省略している。

（平成29年９月24日実施）

主催　公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成29年度（第57回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第１級

解　答　用　紙

【1】

1	2	3	4	5

【2】

1	2	3	4	5

【3】

1	2	3	4	5
				秒

小計	

【4】

問1	問2			問3	問4		問5
	(a)	(b)	(c)		名称	説明	

【5】

問1	問2	問3		問4	問5
		(a)			
		(b)			

小計	

【6】

問1	問2		問3	問4	問5
	(a)				
	(b)				

【7】

問1	問2	問3		問4		問5
		(a)		(a)		
		(b)		(b)		

小計	

試験場校名	受験番号

得点合計

（平成29年 9 月24日実施）

主催　公益財団法人 全国商業高等学校協会

平成29年度（第57回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第１級

審　査　基　準

【1】

1	2	3	4	5
エ	シ	キ	イ	サ

【2】

1	2	3	4	5
ウ	コ	ケ	カ	エ

【3】

1	2	3	4	5
イ	ア	ウ	ウ	30　秒

各 2 点
15問

小計	30

【4】

問 1	問 2			問 3	問 4		問 5
	(a)	(b)	(c)		名称	説明	
イ	イ	エ	ウ	ウ	ア	イ	ア

【5】

問 1	問 2	問 3		問 4	問 5
ア	イ	(a)	DISTINCT	返却 ＊ 料金	ウ
		(b)	LIKE		

各 3 点
10問

小計	30

【6】

問 1	問 2		問 3	問 4	問 5
ABS	(a)	CEILING	イ	ウ	ア
	(b)	TIME			

【7】

問 1	問 2	問 3		問 4		問 5
イ	ウ	(a)	COLUMN	(a)	MIN	ア
		(b)	$C18	(b)	+1	

※　複数解答問題は，問ごとにすべてができて正答とする。
※　記述問題の大文字，小文字は問わない。

各 4 点
10問

小計	40

試験場校名	受験番号

得点合計
100